

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

 指定記事

健康と幸せのために

今月号の公式雑誌『Rotary』の特集テーマは「幸福」です。幸福とは人間が最も本能的に求める最も根源的な願いの一つです。それは単に感情ではなく前向きで健やかな心の状態であり、それを生み出し、維持するための環境は、全ての人にとっての普遍的な権利であるものです。

12月にはまた、ロータリーの「疾病予防と治療月間」であり、身体健康だけでなく、メンタルヘルスを含めたロータリー会員の取り組みに注目する月です。世界保健機関(WHO)の最近の報告書によると、世界ではほぼ7人に1人が何らかの精神疾患を患っています。それにもかかわらず、うつ病に苦しむ人で適切な治療を受けているのは、そのうちわずか9%にとどまっています。

幸いロータリーには、心の健康と幸福を支える強力な方法があります。それは「友情」です。ロータリーで築かれるつながりは、変化を生む強い力となり得ることを、私は実体験から学びました。

クラブの仲間たちが私をクラブ会長に推薦してくれた時、私は躊躇しました。ちゅうちゅう 吃音があり、人前で話すのが怖かったのです。しかし、クラブの仲間たちが私を支え、愛情で包んでくれたおかげで、恐怖に立ち向かうことができました。そして人前に堂々と立つすべを見いだすことができたのです。

今日、私は何千人もの聴衆を前に、母国語ではない言語で定期的にスピーチをしています。出会ったロータリー会員たちは、私自身の内面に持続的な変化をもたらしてくれました。

このような友情は、世界に持続可能な変化をもたらすた

めの勇気と手段を与えてくれます。一方、メンタルヘルスに関するサービスは非常に改善の余地があります。WHOの報告によると、各国政府がメンタルヘルスに充てる平均予算は保健予算のわずか2%で、そのうち地域密着型サービスに充てるのは11%のみです。研修を受けたメンタルヘルス専門家が人口10万人に1人しかいない国もあります。WHOは、この不足を埋めるための戦略的かつ緊急の行動を呼びかけています。

ロータリーはこの呼びかけに応えることができます。クラブでメンタルヘルスへの認識を高め、地域の医療体制と連携し、医療従事者のための研修を支援し、医療が行き届いていない地域に医療を提供する取り組みを支援できます。メンタルヘルスへの小さな投資も、社会全体の生産性や公衆衛生、幸福度において大きな成果をもたらします。

世界に持続可能な変化を生みつつ、互いを大切にすることも忘れてはなりません。ゴードン・マッキナリー元RI会長は、「ただ『元気?』と聞くのではなく、『本当のところどう?』と問いかけることが大切だ」という気付きを与えてくれました。

新たな可能性に満ちた新年を迎えるに当たり、癒やし、友情、そして幸せのために、よいことのために手を取りあってまいりましょう。

フランチェスコ・アレツツォ

2025-26年度 国際ロータリー(RI) 会長